

## 雑草イネ（赤米）と農作業安全について広報活動を実施しました

雑草イネ（別名；赤米）とは、水稻の収量や品質を低下させてしまう厄介な水田雑草です。近年、全国的にも問題になっており、佐久地域でも発生が確認されています。この雑草イネは、穂が出て2週間後から籾が自然に落ち始め、容易に発生拡大してしまい防除を難しくしてしまいます。そのため、地域が一丸となって対策を講じていく必要があります。

雑草イネの拡大を防ぐ活動の一環として、4月下旬から6月上旬にJA佐久浅間浅科支所とJA佐久浅間しらかば東部営農センターにて、肥料や農薬を購入にきた農業者に対して、啓発活動を実施しました。

活動の内容は、来店者のうち水稻の作付けしているほ場の周囲で雑草イネの発生があるかなどについて聞き取り、発生がある場合には、効果のある除草剤の選択や、使用するタイミングについて啓発、指導を行いました。

また、春の農作業が本格化し、農業機械を利用する機会が増えることから、農作業安全の啓発の一環として、ポケットティッシュやステッカーの配布を行いました。それにより、あらためて農作業安全に対する意識を高め、農作業事故防止の徹底を図りました。

トラクタを使用する際にシートベルトの着用や周囲の安全確認、スピードを抑えるなどの基本的な安全操作を徹底することが重要です。今シーズンが無事故で終わられるよう、引き続き関係機関と連携し啓発を行ってまいります。



J A 佐久浅間浅科支所で啓発活動を行う様子